

## 明善寺：鐘楼門

明善寺の正門である鐘楼門。1801年に建てられたこの門は、二層構造で茅葺きの高い屋根が特徴的である。同様に茅葺屋根を特徴とするこの寺の現在の本堂は、この門の完成から26年後に建設された。

鐘楼門の元の梵鐘は、第二次世界大戦中に軍用として徴用された。戦後、新たに鑄造された梵鐘が門に吊るされ、毎朝6時に鳴らされるほか、式典や大晦日などにも鳴らされている。